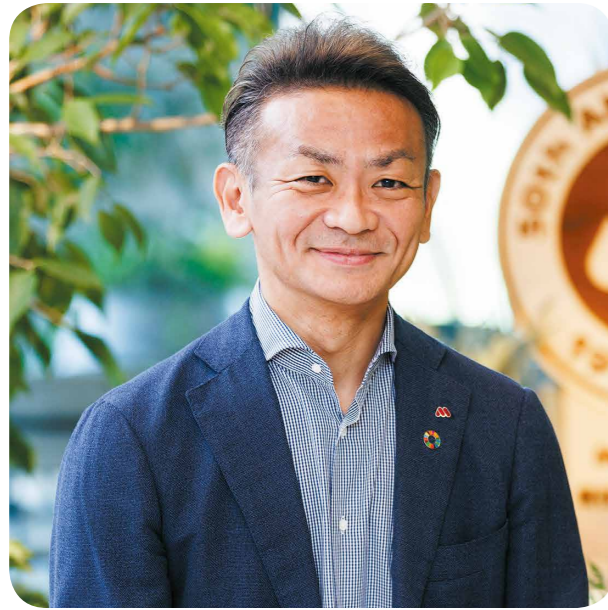


愛される店舗づくりと 質の高いサービスの提供を目指して

モスバーガーチェーンは、モスバーガーを展開する株式会社モスフードサービス(本部)と加盟店で構成されています。創業以来大切にしている「モスの心」を指針に店舗を運営し、お客さまから求められる質の高いサービスの提供を目指しています。



加盟店とともに 成長していきます

太田 恒有
取締役上席執行役員
営業本部長

組み、地域の人から愛され、応援してもらえるような店舗づくりに取り組んでいます。

当チェーンを支えるのは、本部と加盟店がつながる「FC(フランチャイズチェーン)」と加盟店同士がつながる「VC(ボランタリーチェーン)」の2つの要素を併せ持った、モス独自の「FVC(フランチャイズ・ボランタリー・チェーン)」ともいえるユニークなビジネスモデルです。

米国で誕生したフランチャイズシステムでは、本部と個々の加盟店とのつながりが強い一方、加盟店同士の横のつながりがなく、加盟店の組織化を避けるのが一般的です。モスの場合は、本部と加盟店が対等な立場でチェーン全体の繁栄をそれぞれが考え、日本で生まれたモスというブランドの価値を高めるために活動しているのです。

本部と加盟店がともに成長していく モスバーガー共栄会の仕組み

本部と加盟店、さらに加盟店同士をつなぐ組織として1980年に誕生したのが「モスバーガー共栄会」です。「モスの心」を具現化して、もっと良い店舗づくりをしていくためにHospitality(心のこもったおもてなし)、Delicious(安全で高品質なおいしい商品の提供)、Cleanliness(磨き上げられた清潔なお店)に基づいた「HDC活動」がスタートしました。各店舗がクオリティを保ちながら健全に営業し、モスバーガー基本方針の実

現を目指したこの取り組みは、現在も大切に受け継がれています。

本部はこうした活動を支援しながら、加盟店が抱えている課題の解決に取り組む、加盟店と本部と一緒に成長していくことを目指しています。近年はコロナ禍でモスバーガーを含む多くの飲食店が困難に直面しました。お客さまのイートインの利用が減少傾向にある一方で、テイクアウト需要が増加するなど、お客さまの行動や需要も変化しています。それに対応するため、新しい店舗運営やテイクアウトに合った商品開発など、本部と加盟店が意見を出し合いながら取り組んできました。

地域の課題に加盟店と取り組み、 世界で一番尊敬されるチェーンへ

外食産業はいま、少子高齢化による人手不足や人件

費高騰といった課題に直面しています。また、地政学的なリスクやサプライチェーンの分断による原材料費や水道光熱費の高騰などで、飲食店経営はますます難しくなっています。新しいコンセプトの開発を進めてビジネスモデルを創造したり、加盟店の事業構造の変革を支援したりしていくことも本部の役割です。

これから先の50年に向けて、世界で一番尊敬されるチェーンになるという大きな目標を達成するために「品質の向上」「社会的責任を果たす」「従業員の育成」「技術の革新」「グローバル展開」という5つのテーマを掲げています。

2023年は共栄会のメンバーが一堂に会する機会があり、海外の店舗からも招待しています。世界で一番尊敬されるチェーンになるという目標に向けて、加盟店と一緒に成長していけるよう取り組んでいきます。

地域の方々に愛されるための地域密着活動

お客さまがお店に期待することやお困りごとは地域によって異なります。それらの要望や課題は地域に根ざした経営を行う加盟店オーナーが一番理解しています。共栄会を通じて本部と加盟店とがタッグを組み、各地で地域貢献活動や販促活動を展開することで、地域とつながりを持ち、盛り上げ、地域の方々に愛される地域一番店を目指します。

●地域貢献活動

地域に根ざした取り組みを行っています。

- ・新潟支部 新潟MOSごと美術館開催
- ・群馬栃木支部 ありがとうの花を咲かせよう
- ・東京支部 地域清掃
- ・兵庫支部 兵庫盲導犬協会への募金活動
- ・中・四国支部 夏休みSDGsチャレンジ など

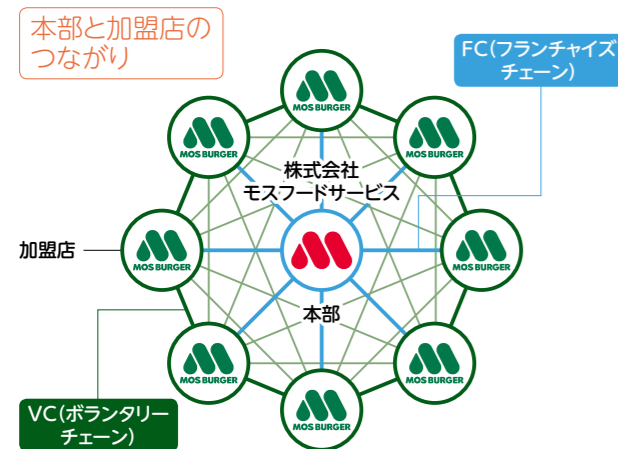
●地域販促活動

販売促進活動も地域ごとに工夫をしています。

- ・東北支部 モスの産直野菜フェスタ
- ・千葉茨城支部 ご当地シェイク
- ・静岡支部 静岡県民の日
- ・甲信支部 ご当地ドリンク
- ・中京支部、北陸支部 ラジオ企画
- ・沖縄支部 沖縄本土復帰50年企画 など

モスバーガーならではの ユニークなビジネスモデル

モスバーガーチェーンは、日本全国に約400名の加盟店オーナーがいて、地域に根ざした店舗を運営しています。モスバーガーの店舗を運営するだけでなく、地域活性化や地域貢献につながる活動に積極的に取り

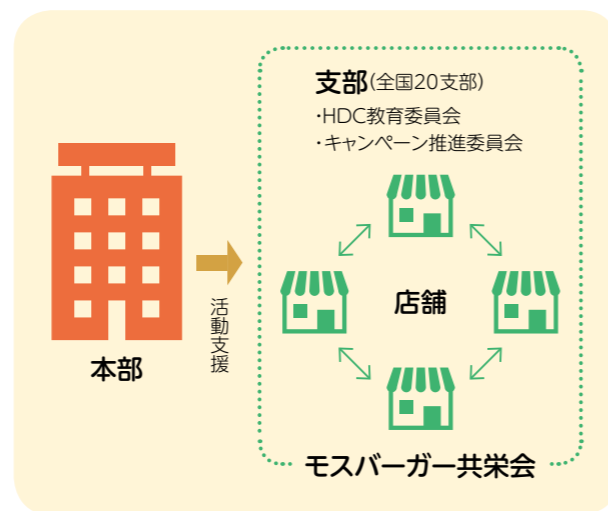


本部とともに加盟店の成長を目指す モスバーガー共栄会のこれから

モスバーガー共栄会の目的と役割

モスバーガーチェーンは、独自のFCシステムを構築し、本部と加盟店は対等なビジネス・パートナーとして、ともに成長していくことを目指しています。本部と加盟店、そして加盟店同士をつなぐ組織として、「モスバーガー共栄会」が1980年に誕生しました。「For the Customer お客さまのために店はある」という共通の哲学のもと、チェーン全体の繁栄を考え、加盟店自らがモスブランドを向上させるために活動しています。

モスバーガー共栄会は地域別に全国20支部に分かれ、理念を共有した加盟店同士が情報共有を行い、店舗経営に関する勉強会を実施したり、地域に密着した活動を行ったりしています。



モスバーガー共栄会の活動状況

共栄会は加盟店のオーナーが、ほかのオーナーの店舗運営を学んだり、良いアイデアの水平展開を進めたりする互助会のような役割や、加盟店のコミュニティとしての役割も果たしています。

オーナー同士の集まりだけでなく、店長のための勉強会や、同じ地域の加盟店が協力して自主的に地域貢献活動を行うこともあり、その活動内容は多岐にわたり

ます。そのひとつとして、1979年のモスバーガー白楽店（神奈川県）の募金活動をきっかけに、全国の店舗に募金箱「愛のモスボックス」を設置しています。募金は、公益財団法人アイメイト協会と、一般社団法人日本フードサービス協会の「ジェフ愛の募金」に寄付しています。

また、これまで20年以上にわたってオーナーの世代交代や事業継承にも取り組んできました。親子間の承継だけでなく、加盟店法人内での後継者育成や社員独立など、若い世代のチャンスになるような支援も行っています。

目先の利益だけでなく、20年、30年と地域に根ざして事業を展開していけるよう、長期的な視点に立って地域の発展や課題解決に貢献し、お客さまから愛される店舗づくりを進めます。



加盟店オーナーの声



モスの本部と加盟店が協力し合って「地域になくてはならないお店」を維持します
モスバーガーふじみ野店【埼玉県】
長木 紫織オーナー

FCシステムを運営する企業の中で、間違いなくモスが最も加盟店に理解があり、寄り添ってくれていると思います。

創業から50年が経ち、加盟店が求めることは多様化しています。一つひとつに答えるのは簡単なことではないと思いますが、これからも本部と加盟店が協力し合いながら、たくさんの「良かった」が集まる店舗経営をしていきたいと思っています。



手を抜かず手間を惜しまず、食を通じて地域の人が暖かく過ごせるお店を目指します
モスバーガー吹田北口店【大阪府】
横江 康オーナー

モスはきわめて正直な飲食チェーンです。食材一つとっても吟味して選んでいます。そこには食べ物を通して人の身体をつくるから、良いものであるべきという考えが根底にあります。

お客さまの喜ぶことを考えてお店を運営し、それに共感してくださる地域の人たちやお店で働く仲間を一人でも多く増やして、「モスの心」を世の中に広めていきたいと思っています。

モスバーガー共栄会 会長からのメッセージ



共栄会は家族のようにおせっかいを焼いてくれる人たちの集まりです

モスバーガー共栄会
井上 威史 会長
モスバーガー
徳島羽ノ浦店【徳島県】

私が30年ほど前に共栄会に加盟した当時、先輩たちが自分の子供のように叱ってくれて、さまざまなことを教えてくれました。親のお説教は聞きませんでしたが、仲間のアドバイスは本当に身にしみました。

私は、共栄会は大きなおせっかい集団だと思っています。過去には、モスグループが大きくなっていく中で、オーナーの一部から「もう共栄会は不要では？」という意見が出たことがあります。しかし、私は「モスの心」を加盟店が守り、受け継いでいくためには絶対に共栄会が必要だと思っていました。いま、その考えは間違っていないかと確信しています。

これからもコロナ禍のような困難に直面することがあると思います。身近なことで言えば、どの加盟店オーナーもいずれは引退や事業承継の課題にぶつかりま

す。家族以上に親身になってアドバイスをしてくれたり、助けてくれたりするのが共栄会です。共栄会の良いところは、成功体験だけでなく、失敗した経験まで惜しまず教えてくれることです。失敗のリスクを、一歩踏み出す前に知ることができるのは店舗運営において、とても大きな武器になります。

共栄会の会長として2022年に創業50周年の節目を迎えられたことをとても感慨深く思っています。これまでモスの本部と共栄会は両輪で成長に向けて取り組んできました。モスバーガーは、「心のこもったおもてなし、安全で高品質なおいしい商品の提供、磨き上げられた清潔なお店」があって、お店で働く人たちが笑顔でいられる、世界で一番尊敬されるチェーンを目指しています。それを実現していくには、本部と共栄会が「モスの心」を守り、伝え続けることが肝心です。成功だけでなく困難な体験も若い世代と共有し、モスの仲間として一緒に成長していけることを期待しています。